

広報うちこ

UCHIKO 12

December 2025

vol.338

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌



◎COVER

ぼく、はじめての秋

◎特集

つむぐ

ぼくの夢 わたしの夢

本田 彩心^{あこ}さん 小田小学校6年(新田第2)

子どもたちと笑顔で触れ合える 小学校の先生になりたい

夢は小学校の先生になることです。私が教わった先生は授業がとても分かりやすく、難しい問題に悩んでいたら解き方を一緒に考えてくれて、正解したら笑顔で褒めてくれました。勉強以外にも、先生のおかげでできたことはたくさんあります。優しく寄り添ってくれたのがうれしくて、「こんなふうに教えられる教師になりたい」と思うようになりました。私も友達に勉強を教えることがあります、「分かった!」と言ってもらえるのが、やりがいを感じる瞬間です。そして先生に「上手に教えているね」と褒めてもらえたことは、今も心に残っています。

いろいろな子と触れ合えるのが教師の仕事の良いところ。明るい性格を生かして、子どもたちが気軽に話しかけられる存在でいられたらと思います。みんなと一緒に楽しく話をして、笑顔いっぱいの毎日にしたいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.338 広報うちこ 2025年12月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 つむぐ
- 10 まちのニュース いのちの授業／小学校創立150周年記念事業 他
- 12 うちこ往来 内子藝術祭／社会福祉大会／コミュニティカレッジ 他
- 14 うちこの文化祭・農業祭
- 16 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 20 図書館へ行こう
- 21 ゆうていあ Vol.296
- 22 町からのお知らせ 年末年始の業務のお知らせ／内子町防災訓練 他
- 27 くらしの情報 スキー場の町民割／水道管の凍結・破裂に注意 他
- 30 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 32 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



◎11月下旬の龍王公園の紅葉の様子です。今年は猛暑の影響か、色付きが例年より遅れ気味でしたが、きれいな赤やオレンジに染まったトンネルを、多くの人が楽しんでいました。山地さん一家(松山市)は紅葉スポットを探して、一番に内子町を訪れたそう。撮影日にちょうど4ヵ月を迎えた長男・永真^{はるま}くんは、初めての秋の風景に目を輝かせていました。

つむぐ

愛媛県と東京藝術大学が主催する「アートベンチャーエヒメフェス2025」(以下、アートベンチャー)が、10月18日(11月3日の間、砥部町・今治市・内子町の3つのエリアで開催されました。

内子町では、小田地域の旧二宮邸(お宿にのみや)をメイン会場として作品などを展示。約13年間にわたり地域の歴史文化を調査してきた、愛媛大学教授の井口梓先生がアーティストとして参加し、旧二宮邸にアート作品「つむぐ weaving history」を展示しました。

地域の歴史や文化、人々の言葉の記録を元にした作品には、たくさんの方の地域への思いが込められています。その作品に触れたり、関わったりした人たちにはどんな思いが広がったのか——。そして過去と未来をつむぐ作品は、私たちに何を伝えたかったのか、催しの様子と併せて紹介します。





小山
杏子さん（3年生）

対話は一期一会。二度とないこの瞬間を大切にしたい

調査では主に70～90代の人に話を伺っており、私たちはこの対話する時間を何よりも大事にしています。対話は一期一会で、その時にしか聞けない言葉があり、聞き逃すと同じ話は二度と聞けません。どんな話も地域の歴史をつくってきた重要なことだと思い、一語一句書き漏らさないよう、常にノートを手ペンに走らせています。対話を重ねていくと、新しい発見や忘れていた記憶がよみがえる瞬間があり、地域の皆さんと心を通わせながら探求する過程がとても楽しいです。これから皆さんと信頼関係を築きながら、小田の文化を調査していきたいです。

「小田が好き、小田を知りたい」という気持ちも膨らんだ

小田地域の聞き取り調査に初めて挑戦しました。大変だったのは調査内容を大きな模造紙にまとめる作業です。写真や地図、イラストも配置しながら文字を手書きするのは想像以上に難しく、深夜まで制作した日もあります。先生や先輩に助けてもらい、なんとか完成。でも限られた時間の中でうまく書けなかったところもあり、悔しさが残りました。それでも地域の人には「残してくれてありがとう」と温かい声をかけてもらいました。来年はその思いに応えられるよう、さらに頑張りたいです。地域の魅力に触れて「小田が好き」「もっと知りたい」という思いも膨らんでいます。



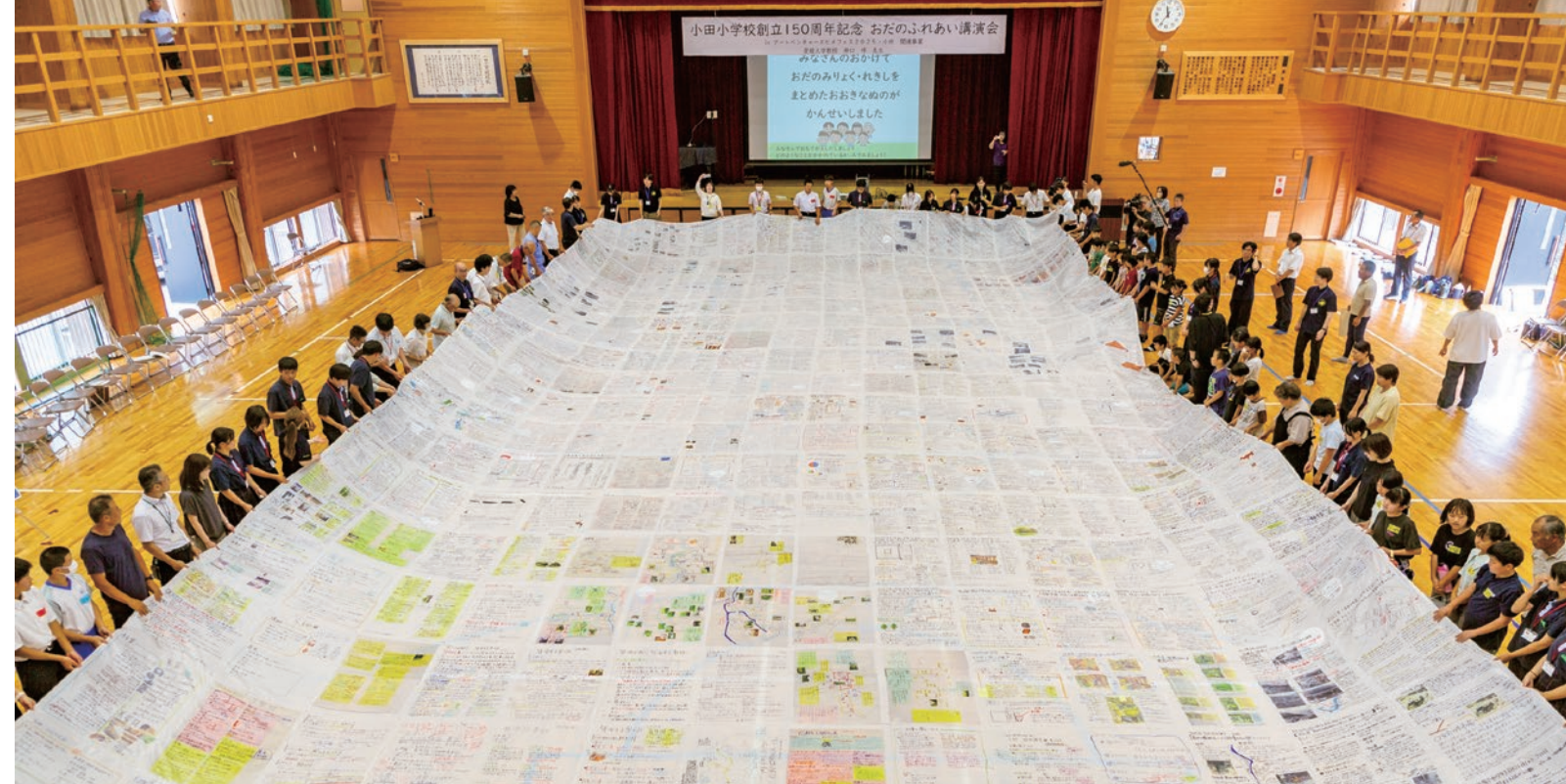
平井
完樹さん（2年生）

「小田は第二のふるさと」。このまちの文化を残したい

話を伺った人の中には、悲しいですが亡くなった人もいます。文化は住民の生活や知恵、喜びや苦勞が積み重なってできたもので、語り継ぐ人がいなければ、いつか忘れ去られてしまいます。でも記録して保存していれば、たとえ人がいなくなったとしても、この土地の文化や人々の思いは社会の中で生き続けます。だからこそ「小田の貴重な歴史を残す」という思いで調査に臨んでいます。この模造紙が、自分たちのまちをより大切に思うきっかけになればうれしいです。小田は私たちを家族のように受け入れてくれた地域で、第二のふるさと。ずっと大事に思っています。



岸
優花さん（4年生）



地域の歴史と文化のかげらを結ぶ

愛媛大学社会共創学部井口梓研究室では、小田の歴史文化を13年間調査し続けてきました。きっかけは13年前、臼杵地区で30年以上も途絶えていた獅子舞とおねりの復活に協力したことでした。それ以来、森林鉄道や巨樹巨木、芝居小屋など、さまざまなテーマを設定し、地域の人たちから聞いた語りを、大きな模造紙に記録しています。毎年、研究室の学生たちが旧二宮邸に数日間滞在し、書き続けた模造紙の数は600枚を超えました。今回のアート作品ではそのうち294枚を布に転写しました。

その布を縫い合わせるアート活動が始まったのは、7月の「小田燈籠まつり」から。2カ月にわたり多くの人の手で布が紡がれていきました。最後の縫い合わせは9月24日、小田小学校創立150周年記念に関連した「おだのふれあい講演会」が舞台となりました。小田小・中学校と小田分校の子どもたち約50人が参加し、横11・2メートル縦23・1メートルの大きな布が完成。井口先生は、「このまちで生きるありとあらゆる世代の人にも、この地域を心から応援したいと思う地域外の人にも、地域の歴史と文化のかげらを拾って結んでほしい」と語ります。

縫い方も、糸の色も自由。きれいに縫えなくても、継ぎはぎだらけでもいい。「誰かと誰かをつないで地域にしていこう」という思いが詰まった大きな布をみんなで広げると大きな歓声が上がりました。井口先生の作品「つむぐ」が生まれた瞬間です。

（右）小田燈籠まつり当日、大絵燈籠の前で（左）布を縫い合わせる参加者



1_イベントのメイン会場となった旧二宮邸 2_住民への聞き取り調査の様子 3_平成26年、大学生が参加した臼杵地区の秋祭り 4,6_調査内容を模造紙にまとめる大学生たち 5_文化交流センタースバルで調査結果を展示 7_田渡地区の歴史をまとめた一枚



1_旧二宮邸に展示された「つむぐ」 2_商店街に飾られたのれん 3_布の上ではしゃぐ男の子 4_見学に訪れた小田小学校の子どもたち 5,6_来訪者をきれいな花で出迎えたいと、有志が植えたコスモス 7_オープニングイベントで思いを語る東京藝術大学の日比野克彦学長 8,10_カフェや行灯など、プロジェクトチームのアイデアが満載 9_日比野学長と井口先生の言葉が入ったボード 11_「巨樹巨木を想う会」によるガイドも 12_地域のお母さんたち手作りの郷土料理を楽しむ来場者 13_旧二宮邸前の蔵では小田地域の映像作品を上映 14_期間中の商店街の様子 15_来場者のため自宅を掃除

通りには、古写真や記憶画が60枚ののれんとなって軒下にかかり、来訪者を出迎えています。古写真には昭和初期の秋祭りの様子や、稲木が何段にも連なる農村の風景が写っており、「懐かしい」と当時の暮らしに思いを馳せる人もいました。地域の人たちもいつもとは違う商店街の雰囲気うれしう。たくさん人が見に来てくれるからと、自分の家の周りをきれいに掃除するおばあちゃんの姿もありました。

「つむぐ」や古写真ののれんのほかにも、有志が商店街にある古民家で喫茶を開いたり、大洲和紙で作った道案内板などを設置したりと、訪れる人たちを温かく迎えていました。アートベンチャー小田実行委員長の越智治徳さんは、「アートのチカラで、地域に笑顔が広がった。地域を豊かにする方法はさまざま。これを機に小田の未来について語っていききたい」と話しました。

庭に出て布の上ではしゃぎ回る子ども、座り込んでじっと布を読む人、大学生とにこやかに話しながら縁側に腰かけ作品を眺める人——アートベンチャーが始まった18日、旧二宮邸は「つむぐ」の作品に触れようと、町内外から訪れた多くの人でにぎわいました。居間から庭へと流れるように広げられた布で、まちの歴史や人々の記憶がつむがれる様が表現され、訪れた人たちは思い思いに感じ入っていました。

小田中央商店街（以下、商店街）の

ワクワクと楽しい気持ち——
アートの力が地域に広がる

小田地域が アートと笑顔に 包まれた17日間

アートベンチャーの内子町小田地域の会場には、たくさんの人の笑顔があふれ、すてきな空間が広がっていました。





布の上に寝転ぶ子ども



久しぶりの再会を喜ぶ



みんなで布を見て語り合う



地域の人との対話を楽しむ井口先生

「つむぐ」がくれたチカラ

地域の皆さんはアートベンチャーに参加し、「つむぐ」の作品などに触れ、どんな思いが芽生えたのでしょうか。地域の皆さんに話を伺いました。そして、井口先生が作品に込めた地域の未来への願いとは――



「つむぐ」は小田地域の宝
今後も活用してほしい

谷本 功さんいしのお＝中川西＝



この先も楽しい思い出を
地域で重ねていきたい

濱田 和栄さんかずえ＝小田上＝



まちの良さを見つけて
誰かに発信したい

本田 暖乃さんのの（小田中3）

8年前から学生の聞き取り調査に協力し、巨樹巨木や昔の衣食住、子ども時代の遊びなどを語ってきました。とても熱心に聞いてくれるので、何十年前の記憶までよみがえってきます。学生との対話はよい楽しいです。

「つむぐ」を見たとき、なんて地域愛にあふれた作品だろうと、感動しました。学生と井口先生、地域の人が向き合ってきた時間を想像せずにはいられません。長年、この地域を、ここで暮らす私たちが大事に思ってくれて「ありがとう」と、感謝の気持ちでいっぱいです。

布に記された写真や文章からは、先人たちの汗がほとぼしするような生きざまが伝わってきます。人が減り、地域の将来を思うと心配も多いですが、「まだまだ、やれることはある」と励まされます。「つむぐ」は小田地域みんなの宝物。多くの人に見てもらい、地域のために生かされてほしいです。

小田でアートベンチャーが開催されると聞き、私たちも何かできないかと考えていたところ、バスツアー客の昼食作りをお願いされました。地元の女性たち数人で集まり、せっかくなら郷土料理でおもてなしをしようと、たらいうどんや栗おこわなど、小田の味にこだわったメニューを考案しました。当日はお客さんから「おいしかった」と、うれしい声をたくさんかけてもらい、こちらが元気をもらいました。

小田で生まれ育った私にとって、商店街の軒下に並ぶ古写真ののれんは、とても懐かしかったです。母がだんご汁をよく作ってくれたことや、小田市に大勢の人が集まっていた様子など、子どもの頃を思い出しました。今回、アートベンチャーに参加して楽しかったです。アートや人の笑顔に包まれた商店街を見て、夢があると思いました。この先もみんなで楽しい思い出をつくっていけたらいいですね。

「つむぐ」の制作では、最後の縫い合わせ作業に参加しました。完成した作品をみんなで広げたとき、体育館の一面が布で覆われた光景が心に残っています。一針ずつ時間をかけて手縫いした分、達成感がありました。忘れられない思い出ができました。

旧二宮邸での展示では布を踏み進むと、小田の歴史の上に立っているようでわくわくしました。布に書かれた文字をじっくり読むと、地域のあちこちに芝居小屋があったことや、私の住む寺村地区にたばこ屋さんがあったことなど、初めて知ることばかりでびっくり。隣で解説してくれた大学生が、住んでいる私たち以上に小田に詳しくたことにも驚きました。小田はコンビニもなく不便なところもあるけれど、人との距離が近くて思いやりを感じられるすてきなまちです。私も小田の魅力をどんどん見つけて、誰かに伝えられるようにになりたいです。

「一人一人の人生が輝いて、まちがある――」

先人たちの挑戦が今につながる

一枚一枚の布を見ると、語ってくれた一人一人の表情やその時の情景が目には浮かびます。

家族との温かい思い出や、生活で苦労した話、頑張ってきたことなど――。この布は地域の歴史文化の記録であり、住民の皆さんが何かに挑戦し懸命に生きた証でもあります。山も田畑も町並みも、今ある地域の全ては先人たちが手をかけてできたものです。一人一人の人生が輝き、みんなで手を取り合って、何かに挑戦したり、心から楽しんだりすることでまちがあるのだと思います。「つむぐ」にはそんな思いを込めました。

地域の価値は「人」

多くの地域が人口減少という大きな課題を抱えています。人の数で地域の価値が測られがちですが、決してそうではありません。地域の価値や幸せは、その地域に暮らす人が決めるものです。大切なのはここで暮らす人であり、ど

う生きるか。いかに地域を大切に思っ、努力したり、挑戦したりしているか――。そこにこそ価値があると感じています。なくしたものに目を向けると、時には寂しさや悲しさを感じるかもしれませんが、でも、ここで生きる喜びや楽しさを感じながら、愛着を持って暮らす皆さんを見ると、数字では測れない豊かさがたくさんあるのだと気付かされます。

「つむぐ」は未来への種まき

作品を見た人からは「風に吹かれると、布が揺れて生き物のように思えた」という感想を多くもらいました。布の上を歩く人、子どもが寝転んでほほ笑む姿など触れ方も自由で、小田という地域像を心と体で感じ取ってもらえたように思います。過去を振り返ったり、未来を語ったりと、新たな語りも生まれ、地域の可能性を感じました。挑戦してよかったです。「つむぐ」は未来への種まき。この地域が世代を越えて、この先もずっと未来につむがれることを願います。



artist 井口 梓さん
（愛媛大学社会共創学部 副学部長）



大学生の解説に耳を傾ける中学生



地元のお母さんたちが作った郷土料理



小田市でにぎわう小田町中央商店



巨樹巨木のガイドをする谷本さん(右)

小学校3校が創立150周年の節目に 歴史を思い、未来を思う記念事業



《五十崎・天神小学校》
1『次の空へ』『しあわせになあれ』などの曲を披露した弓削田さん 2_お笑いコンビ・バンビノ。石山タオルさん(右)は大洲市出身 3_会場の児童も合唱 4_五十崎小学校でのバルーンリリース《小田小学校》
5_学芸会での全校発表 6_元気いっぱいのお太鼓演奏 7_式典終了後、150個の風船を飛ばした 8_9月24日には「ふれあい講演会」を実施。愛媛大学教授・井口梓さんが小田で長年続けてきた調査にまつわるゲームを行い、地域の歴史に触れた

町内の小学校3校が7年度で創立150周年を迎え、各校でさまざまな記念事業が行われました。

五十崎・天神小学校では10月19日、運動会を同日開催しました。両校で午前10時に合わせてバルーンリリースを実施。空を舞う無数の風船は互いの校庭からも見ることができ、参加者は節目の喜びと両校のつながりを感じていました。また11月19日には合同の記念公演会が共生館で行われました。第一部では、合唱作曲家の弓削田健介さんが「いのちと夢のコンサート」

小田小学校の記念式典は11月22日、文化交流センターサルで開かれました。児童のお太鼓演奏で幕を開けると、実行委員長の本田紳太郎さんが「長く地域に愛されてきた学校。支え合いの気持ちで歴史をつないでほしい」とあいさつしました。続いて行われた学芸会では、児童らが名物のたらいうどん、小田地域の自然や文化を題材にした劇などを披露しました。全校発表では「先輩たちが守ってきた小田小学校を、これからも大切にします」と宣言。力強いメッセージに、涙ぐむ来場者の姿も見られました。

健康づくりに、競技力向上に―― 箱根ランナーに学ぶランニング教室

内子町駅伝競走大会に向けた体力づくりや技術向上などを目的に、「ランニング教室」が10月26日、内子運動公園で開かれました。

箱根駅伝に出場経験がある岩原正樹さん(神奈川県川大職員)が講師となり、楽に走るための足の

運び方や呼吸法、走る後のストレッチ方法などを説明。参加者はフォームを確かめるようにグラウンドを走り、心地よい汗を流しました。岩原さんは「まずは基礎を大切に。それぞれの目標に向けて、一步一步継続して」と呼びかけました。



グラウンドを走る参加者と笑顔で触れ合う岩原さん(左)

五十崎中学校で「いのちの授業」 命を育むことの尊さを学んだ一日

中学生が赤ちゃんやその保護者と触れ合い、命の尊さや親になる責任について考える「いのちの授業」が10月30日、五十崎中学校で開かれました。毎年会場を変えて行う事業で、今回は同校の3年生が参加。保護者や町の保健師から子育ての話

などを聞き、赤ちゃんを抱っこしてミルクを飲ませたりあやしたりして、命のぬくもりと重みを感じました。生徒からは「ミルクの飲み方や速さ、みんなそれぞれ違うんだなと思った」「将来、子どもができたなら内子で育てたい」と感想が上がりました。



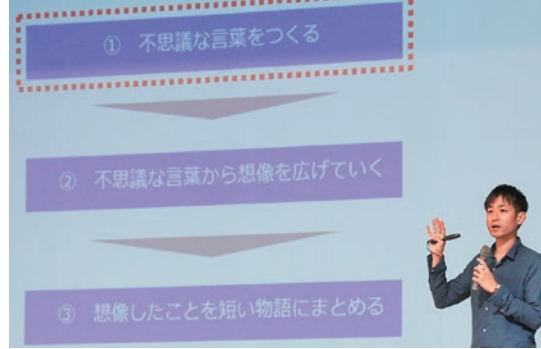
赤ちゃんのかわいらしい声や動きに、思わず笑顔がこぼれる中学生

空想から広がる、短くて不思議な物語 ショートショート作家が魅力を紹介

「第50回読書活動研究集会」が11月21日、共生館で開かれ、町内中学生など約500人が参加しました。

読書感想文最優秀賞の表彰に続いて、ショートショート作家の田丸雅智さんが講演しました。田丸さんは「ショートショートとは、短くて不思議な物語のこと。内容や字数は自由」と紹介。自分で不思議な言葉を考え、そ

こから物語へと想像を広げる方法を解説しました。来場者も物語づくりに挑戦し、「6本足のパソコン」「星しいたけ」などの独創的なストーリーが発表されました。田丸さんは「発想し、まとめることで脳が活性化し、ありふれた日常の見え方が変わる。いろいろな力につながり、社会でも役立つ。楽しむことを意識して、ぜひ続けてみて」と話しました。



上_物語をつくる流れを説明する田丸さん
下_中学生も即興でストーリー制作に挑戦



「厚めがいい。たっぷりすくって」とアドバイスする西岡さん(左)

門出を彩る一枚を、自分の手で 伝統の技に触れる手漉き和紙体験

ふるさと教育の一環で、町内小学校の6年生が卒業証書用の和紙漉き体験を行いました。11月20日には内子小・大瀬小の児童が、和紙工房ニシオカの西岡芳則さん(よしのり)から原料や作業工程について教わった後、簀桁(すけた)で紙料をすくう作業に挑戦。「水がとろとろしてる」「思ったより重たい」と伝統工芸を肌で感じながら、世界に一枚の卒業証書を真剣な表情で仕上げていました。



「自然との距離が近いと、脅威にもさらされやすい」と蓬萊さん

想定外が起こる災害、事前にイメージを 気象予報士が語る防災の心構え

「内子町社会福祉大会」が11月15日、共生館で開催されました。多彩なバザーや保育園児による踊りの披露、社会福祉功労者表彰を実施。記念講演では気象予報士の蓬萊大介さん(だいすけ)が登壇し、災害級の大雨が多発していること、雨雲レーダーの活用方法などに触れ、備えと早めの判断の重要性を伝えました。最後に「自分は大丈夫と思い込まないで。念のために、一つでも行動を」と呼びかけました。



「2階の高さは、建築時期を推定するポイント」と解説

町並みを歩いて学ぶ、文化財の見方 文化講座「コミカレ」フィールドワーク

第7回「コミュニティ・カレッジ in 内子」が11月15日、上芳我邸などで行われました。愛媛大学准教授・佐藤大規さん(たいき)が、江戸と明治の町家の違い、座敷の配置のルールなどを解説。参加者は町並みを歩き、建物から昔の暮らしを紐解く方法を学びました。佐藤さんは「構造には理由がある。記録に残らない文化をモノや痕跡から知る、という見方も楽しんで」と語りました。



地域を一望できる「野村夕陽の丘」で記念撮影

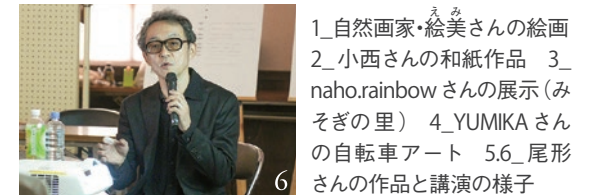
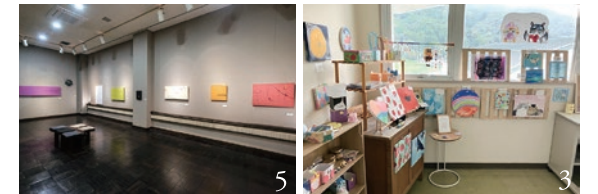
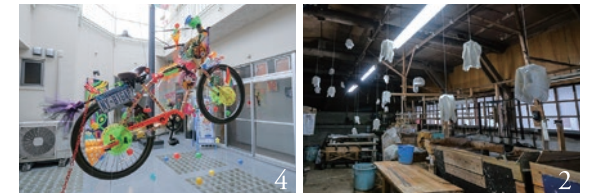
愛媛サイクリングの日に合わせて 秋晴れの小田を自転車で満喫

自転車で町内の名所を巡る「内子グループライド」が11月22日に行われ、約50人が参加しました。コースは体力や熟練度によって選ぶ3種類。小田支所を起点に、初心者向けコースは上川地区へ紅葉を楽しみながら走り、グラベルコースは未舗装路やアップダウンのある林道野村北地線を抜けます。秋の小田地域を満喫した後はゴールで軽食や足湯を楽しみ、疲れを癒やしました。

アートと内子の魅力を味わう9日間 「内子藝術祭」を初開催

地域の文化資源を生かしてアートを展示する「内子藝術祭」(内子町観光協会主催)が10月18～26日の間、内子・五十崎地域を舞台に開かれました。この催しは地域全体をギャラリーと見立てて各所に作品を展示し、町内を巡りながらアートを楽しむ取り組みです。初開催の今回は町内外から9組のアーティストが参加。内子町ビジターセンターやみそぎの里など7会場で、絵画や版画、映像などさまざまな作品が公開されました。

18日にはオープニングイベントが五十崎風博物館で開催されました。総括プロデューサーの齋藤宏之さん(ひろゆき)は「内子には創作活動への熱い思いを持つ土壤がある。アートでまちが盛り上がればうれしい」とあいさつ。続いて抽象画家・尾形純さん(じゆん)の作品紹介や、現代美術家・小西ハレーさんと映像作家・Ko-ki Karasudaniさんのトークセッションがあり、制作の背景やこだわりが解説されました。また期間中は五十崎出身の画家・上岡美平さん(みへい)の作品展、風文字の企画展、和紙創作展など催しが盛りだくさん。来場者は各会場で多彩なアートを楽しみました。



1_自然画家・絵美さんの絵画
2_小西さんの和紙作品 3_naho.rainbowさんの展示(みそぎの里) 4_YUMIKAさんの自転車アート 5.6_尾形さんの作品と講演の様子

内子町代表監査委員・赤穂英一さんに 全国町村監査功労者表彰

町村自治の発展への功績を称え、赤穂英一さん(えいいち)に10月16日、全国町村監査委員協議会から表彰状が贈られました。赤穂さんは平成30年4月に内子町代表監査委員に選任され、令和5年10月から愛媛県町村監査委員協議会長も務めています。表彰を受け「委員や事務局と厳正な監査に努め、町には指摘に真摯に対応してもらえた。健全なまちづくりに貢献できたのでは」と述べました。



表彰状を手にする赤穂さん

豊かな想像力で、体いっぱい自分を表現 小田小で「演劇ワークショップ」

表現手法や演技の楽しさを学ぶ「演劇ワークショップ」が11月11日、小田小学校で開催されました。内子町と連携協定を結ぶ四国学院大学の西村和宏教授(かずひろ)と、演劇コースの学生らが指導。与えられたテーマを、発想力豊かにジェスチャーで伝えるゲームなどに挑戦しました。西村さんは「コミュニケーションが苦手な子も、演技を通してその大切さを感じてほしい」と話しました。



動物、それとも乗り物……何を表しているでしょう？

内子の文化祭

11月上旬、町内各地で農業祭・文化祭が開かれました。バザーや農産物販売などの「食」、和太鼓演奏や文化作品展示などの「芸」が集まり、各会場は多くの人でにぎわいました。それぞれの祭りのシーンを写真で紹介します。



1



6



7



8



2



3



9



10



11



12



4



5



柿、うまいっ！

- 《小田の郷ふるさとまつり》
- ▼1・2日／道の駅せせらぎ他
- (写真8) ポニーの乗馬体験
- (写真11) 三田杏華さんが熱唱
- 《五十崎文化祭》
- ▼2日／五十崎自治センター
- (写真6) 雛太鼓の演奏
- (写真9) 息の合った餅つき
- 《大瀬農業祭柿まつり》
- ▼2日／大瀬商店街
- (写真10) 柿の皮むき大会
- (写真12) 種飛ばし、大記録なるか
- 《石畳水車まつり》
- ▼3日／石畳清流園
- (写真1) 大人気の竹滑りコーナー
- (写真4) 内子高校郷土芸能部
- 《立川地区文化産業祭》
- ▼3日／立川自治会館
- (写真2) 子どもたちもお手伝い
- (写真5) 品評会に農産物がずらり
- 《うちこ文化祭》
- ▼8・10日／内子自治センター
- (写真3) 扇子に色塗り体験
- (写真7) 綿菓子に満面の笑み



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

12月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



12.20
向井 美翔ちゃん 柿原
バナナとねえねが大好き♡ おなかいっぱいバナナを食べたい♡



12.15
稲田 立都くん 西沖
僕はご飯が大好き♡ たくさん食べて、もっと大きくなるぞー！



12.12
高岡 和ちゃん 松尾
ねえね大好き♡ 歩けるようになったら、お散歩しようね☆



12.29
山岡 幸奈ちゃん 柿原
お歌大好き、にっこにこ♪ 早くにいに、ねえねとお散歩したい♡



12.24
山口 茉瑚ちゃん 内子18第1
優しいお兄ちゃんが大好き♡ 早く一緒に歩きたいな！

「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月上旬にお送りしています。ぜひ、応募してください。



INSTAGRAM \ みんなが見つけた /
内子のいいところ「うちコト」

「#うちコト」を付けて投稿してくれた写真を紹介します。皆さんも#うちコトで内子町の「すてき」を投稿してみませんか。

uchikoto_official

見るだけでも楽しめるよ！
ぜひ、フォローしてみてね！
QRコードをスキャンすると簡単に見られます。



manabu.zenke さん
秋色に包まれた小田深山渓谷。



yooosh1k1.38 さん
風博物館前のコスモス畑を楽しむ。

FROM ME TO YOU



みんなであつないでリレーエッセイ



長田の活動

太田 利栄さん(70)
＝長田＝

自治会長を引き受けた15年前、長田地区には50以上の世帯がありました。今では30ほどになり、地域の活動を支える人手も少なくなっていました。正直なところ苦しい状況ですが、住民のみなで力を合わせ、できる限りの活動を続けています。

児童数の減少により長田小学校が閉校したのは平成16年のことです。閉校後も地域の交流の場として活用しようと、校舎のそばに石窯や野外いり、五右衛門風呂などを住民の手で作りました。平成24年には、過疎化が進む地域を元気にしたいという願いから小学校を再整備。田舎生活体験宿泊施設「お山の学校ながた」が誕生しました。竹を割って流しそめんをしたり、石臼で大豆をひいて豆腐を作ったりと、自然の恵み

に触れながら昔ながらの暮らしを体験できます。大人から子どもまでたくさんの人が訪れるようになり、再びにぎやかな声が聞こえるようになったことがとてもうれしいです。長田地区は行事の多い地区だと思っています。毎春秋に開いている「長田食の文化祭」では、釜揚げうどんや手作りピザ、こんにやくなどを販売。今年も町内外から350人以上が来場し、大いに盛り上がりました。地域外の人たちも準備を手伝ってくれ、多くの人の協力のおかげで開催することができました。

地域の姿は少しずつ変わっていきますが、これからも「住民の手で」を目標に、長田の活動を続けていきたいです。

▼次は、大程寿博さん＝程内＝
＝程内＝

監修 内子町食生活改善推進協議会

今月の食改さん



竹内真由美さん
＝船戸＝

●材料(4人分)

サツマ芋 200g
パイ生地(冷凍) 80g
砂糖 30g
バター 10g
④牛乳 大さじ1
塩 1つまみ
溶き卵 適量
黒ごま 適量

●作り方

①サツマ芋の皮を取り、1本の輪切りにする／②鍋に水と①を入れてゆでる。火が通ったら水気をきる／③ボウルに②と④を入れて麺棒でつぶし、8等分にして丸める／④パイ生地を5mm幅に切り、③に巻き付ける／⑤溶き卵を塗って黒ごまをふり、200度のオーブンで15分焼いて完成



季節の一皿
SPECIAL DISH

「スイートポテトパイ」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」12月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①災害に備えましょう。12月7日に内子町「●○○○○○○○○」を実施します
- ②冬本番。暖房に頼らない「●○○○○○○」で快適に過ごしませんか
- ③図書情報館で「○○○○○○●○○○○○○」に関する展示を行います
- ④夢に登場した「○●○○○○」さん。小学校の先生を目指しています
- ⑤「○○○○●○」の凍結・破裂に注意。早めの対策をしてください
- ⑥内子町社会福祉大会が開かれ、特別講演では気象予報士の「○○○○○●○○」さんが登壇しました

応募方法：ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛先：〒795-0392 内子町平岡甲168番地 内子町役場企画情報課 広報・広聴係
締め切り：12月31日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」2月号

● 10月号当選者の皆さん

答え「ハロウィン」 正解数 26

- ・奥本美代子さん（内子18第1）
- ・池田 琉空さん（内子19第1）
- ・宮本 昌明さん（大久保）
- ・森岡 豊茂さん（川中1）
- ・河内 美子さん（本村）
- ・井口 千恵さん（天地）
- ・三浦真佐子さん（西沖）
- ・北岡ひとみさん（宮原）
- ・村上かりんさん（大洲市）
- ・寺井 安弘さん（松山市）

環境省は地球温暖化防止対策の一つとして、20度未満の室温で快適に過ごす「ウォームビズ」を呼び掛けています。暮らしの中で取り組める小さな工夫はたくさんあります。過度な暖房に頼らず、エコロ

くらしのエコロジー

ウォームビズで
冬を快適に過ごそう

- ジーンな暮らしを実践してみよう。
※体調を考慮しながら、無理のない範囲で取り組んでください。
- 衣** あったかアイテムを身に着けて
▽軽くて薄い腹巻など、保温力に優れた機能性素材の下着を活用する
▽太い血管が通っている「首、手首、足首」を温める
- 食** おいしく食べて温かく
▽部屋も体も温まる鍋料理をみんなで囲む
▽根野菜やシヨウガなど、体を温める食材を取る
- 住** 小さな工夫で
おうち時間を快適に
▽窓には厚手のカーテンや断熱シートなどを利用する
▽暖かい空気は上の方に溜まるので、エアコンの風向きを下にする
- 浴** お風呂で
体も心もぽかぽかに
▽39度ほどのぬるま湯で、20分ほど時間をかけて半身浴をする
- 【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159

VOICE まちの声

まだ着られる子ども服を譲りたい

□子どもが成長し、着られなくなった衣類があります。誰かに着てもらえとうれしいのですが、提供する場はありますか。（30代女性）
■内子町子育て支援センターでは、使わなくなった子ども服を譲り合う「子ども服のリユース」を、毎月第

4火曜日に行っています。目立つ汚れなどがなく、まだ着用できるものならいつでも同センターにお持ちください。
【問い合わせ】
内子町子育て支援センター（平日午前9時～午後5時）
☎0893(44)6355

ハイレベルな戦いで得た自信と向上心

宮岡 虎蒔さん（内子中学校2年）＝川中1＝

将来のサッカー日本代表選手を育成する「JFAエリートプログラム」のU-14日韓交流戦が10月に開かれ、宮岡虎蒔さんが四国から唯一、選手に選ばれました。宮岡さんは2戦目にセンターバックのポジションで先発。「プレーの精度、視野の広さ、先を読んだ動き、気持ちの強さ——全てにレベルの高さを痛感。仲間たちのサッカーにかけける意識にも刺激を受けた」と振り返ります。そんな宮岡さんの長所は、体の強さを生かしたディフェンス力。攻める相手のボールを奪い、味方につなぐプレーが持ち味です。「技術的にはまだまだ。でも強みは通用すると分かって自信になった」と笑みがこぼれます。

2人の兄の影響でサッカーを始めた宮岡さん。現在は愛媛FCアカデミーU-15で練習に励んでいます。チームについて宮岡さんは「ベストを尽くす、と強い気持ちがみんなにある。きつい練習もあるけれど、体も心も鍛えられる」と力を込めます。目標にクラブユース選手権全国優勝を掲げ、「もっと技術を磨く。日々、高い意識で臨みたい」と目を輝かせました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

たてがみみたいな髪の毛

多くの人が私の髪に興味を持ってくれていて、いろいろなことを聞かれます。「地毛なの」「どうやって洗うの」「できるだけ時間はどのくらいかかるの」——そんな疑問に答えるため、今回は私の髪型「dreadlocks」について紹介します。

縄のように束になった髪型のこと、locksやdreadsとも呼ばれています。手やかぎ針を使ってねじったり、編んだり、逆毛を立てたりして、スタイリングしていきます。私の髪は天然パーマなので、dreadlocksにしやすい髪質です。それでも最初は8時間もかかりました。南アフリカにいたときは美容院で月に一度、整えてもらっていましたが、でも日本だとこの髪型を扱える美容師が少なく、

料金も高めです。今は3カ月に一度だけ美容院に行き、4時間ほどかけて整えてもらいます。他の月は自分で丸1日がかかりで手直しをしています。

「髪を洗えない」と思う人もいますが、自然由来のシャンプーなら何度でも洗えます。ただし、ドライヤーでしっかり乾かさないと、臭くなるので要注意です。「日本人でもできるの」ともよく聞かれます。もちろんできます！日本人の髪はストレートなので少し難しいですが、腕のいい美容師なら私のように仕上げてくれると思います。

手間がかかって整えるのが難しいけれど、この髪は自分らしさのひとつ。大のお気に入りです。



HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手

ゴイツェオーネ・トップマン・ロバーツ

Goitseone Topman Roberts

🎁 内子で楽しむ、ドイツのクリスマス 🌲

ドイツで大切にされているクリスマス文化に触れられる企画を紹介。
本場の雰囲気を味わい、いつもと違うクリスマスを楽しみませんか。

お知らせ1 外国の文化に親しむ「国際理解講座」

中学生・高校生が対象の国際理解講座を開催します。テーマは「ドイツのクリスマス」です。

国際交流員のシュテファンさんが、ドイツのクリスマスの過ごし方や、姉妹都市・ローテンブルク市のクリスマスマーケットの様子などを紹介します。菓子や飲み物を楽しみながら、外国の文化に触れてみませんか。参加を希望する人は、事務局までご連絡ください。

- 日時 12月13日(土) 午後1時～3時
- 場所 文化交流センタースパル
- 対象 中学生、高校生(定員20人)
- 参加費 500円
- 申込期限 12月10日(水)



写真は昨年の様子。
ドイツ語の単語を学んだり、ビンゴゲームをしたりして楽しんだ



お知らせ2 クリスマスのツリーや雑貨を展示中



ツリーを飾る文化はドイツ発祥といわれており、クリスマスはドイツの人にとって特別な行事の一つ

内子町とローテンブルク市の交流を記念して寄贈されたドイツのクリスマスツリーを、ビクターセンターで展示しています。高さ約2.4mの大きなツリーには、薄いガラスで作られたオーナメントがいくつも飾られています。

なお期間中、内子町国際交流協会の事務所ではドイツのクリスマス雑貨を展示しています。ぜひ立ち寄ってみてください。

- 展示期間 12月26日(金) 正午まで
午前9時～午後4時30分(木曜日休館)



- 内子町読書感想文入賞者
今回は52点の応募があり、下記の皆さんが入賞しました。入賞作品は今後の企画展で展示する予定です。
- 12月の予定
- 企画展
▽「つながる流域、つながる地域」／生態系ネットワークを紹介するパネル展です。
- おすすめ図書コーナー
▽「食」に関する本
- おはなし会
▽土曜日・午後2時
- 文学講座
▽12月13日(土) 午前10時
- 大人の絵本セラピー
▽12月14日(日) 午前10時

第20回内子町読書感想文の入賞者(敬称略)

部門	最優秀賞	優秀賞	佳作	
小学校 低学年	武田 つぐみ (五十崎小1年)	樽古 陽太 (内子小2年)	伊達 彩夏 (大瀬小2年)	
小学校 中学年	井上 智喜 (五十崎小4年)	山田 歩太 (石畳小4年)	橋本 結愛 (五十崎小3年)	宮岡丈蒔郎 (立川小4年)
小学校 高学年	林 寧々 (立川小5年)	森本 大翔 (五十崎小6年)	猿屋 春紀 (五十崎小5年)	阿部 友輝 (石畳小5年)
中学校	酒口 萌絵 (小田中3年)	大程 あさひ (大瀬中1年)	田中 伶旺 (小田中1年)	中岡 凜 (内子中1年)
高 校 一 般	兵頭ほのか (内子高1年)	水本 美咲 (一般)	山田 怜 (内子高2年)	—

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣️一般図書



総理にされた男2 第二次内閣
中山七里／著
素人ながら、国民に寄り添う姿勢で世論を味方につけてきた替え玉総理・加納慎策。さらに数々の試練が降りかかる、人気小説の第2弾



60歳からの長生きたんぱく質主義
和田秀樹／著、田村つばみ／料理
寝たきりやうつ病を防ぐなど、60代以降の健康維持に大切なたんぱく質について解説。簡単でおいしい、たんぱく質量多めのレシピも紹介する



お悩み相談そんなこともアラナ
ヨシタケシンスケ／著
生きる希望とはどんなもの？ 夫婦仲よく過ごすには？ 元気がない歴50年の著者が、「元気がない人の考え方」で数々の悩みに答える

♥️児童図書



ウルトラマンがおしえてくれるたいせつなこと
大豆生田啓友／監修
格好いいヒーローになるために身に付けたいことは？ 子どもが幸せに生きるために大切な考え方や行いを、ウルトラマンたちとともに伝える



超チョウ図鑑
tupera tupera／作・絵
オモシロチョウやゼッコウチョウ、カリチョウ、エキチョウ……。近年発見された、これまでの常識を覆すチョウ全84種を分類し、その生態を紹介



ジャンボタニシに負けるな!
谷本雄治／著
田んぼを荒らし、米作りの大きな障害となるジャンボタニシ。手間やコストをかけず、知恵と工夫で駆除に取り組む人々を描いたノンフィクション

図書館
へ
行こう

内子町図書情報館

〒791-3301

内子町内子3427番地

☎ 0893(44)4198

開館時間：午前9時30分～
午後6時(月曜日・月末整理日・年末年始は休館日)

詳しい情報はホームページで紹介しています。併せてご覧ください▶



年末年始の業務のお知らせ



町の施設は12月27日(土)～1月4日(日)まで休みとなります。
ただし一部の施設は休みが異なりますので、ご注意ください。



業務・施設／連絡先	12/26 (金)	27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	1/1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)
証明発行などの受付業務(※注) ○住民課 ☎0893(44)2111 ○小田支所 ☎0892(52)3111		休	休	休	休	休	休	休	休	休		
出納業務(支払・収納) 会計課 ☎0893(44)6156		休	休	休	休	休	休	休	休	休		
町営バス・デマンドバス 総務課 ☎0893(44)6150			休	休	休	休	休	休		休		
八日市・護国町並保存センター ☎0893(44)5212				休	休	休	休	休	休			
内子座楽屋 ☎0893(44)2840				休	休	休	休	休				
歴史民俗資料館 ☎0893(44)5220				休	休	休	休	休				
木蠟資料館 上芳我邸 ☎0893(44)2771				休	休	休	休	休				
護国駐車場 ☎0893(44)5347				無料開放								
文化交流ヴィラ 高橋邸 ☎0893(44)2354			休	休	休	休	休	休	休	休		定休
五十崎風博物館 ☎0893(44)5200				休	休	休	休	休			定休	
内子町ビジターセンター ☎0893(44)3790				休	休	休	休	休	休			
内子町図書情報館 ☎0893(44)4198			整理日	休	休	休	休	休	休		定休	
内子町クリーンセンター ☎0893(44)4574			定休		午後休	休	休	休	休	定休		

(※注)「死亡届」などの戸籍の届け出は日直・宿直が受け付けます。(12月29日～1月4日は本庁のみ)
なお、内子分庁での受付業務はしていません。

いつか来る災害に備えるために 内子町防災訓練を実施します

近い将来に発生が予想されている南海トラフ巨大地震などの災害に備えるため、内子町防災訓練を実施します。

避難所生活の模擬体験コーナーや、災害時に活躍する警察・消防車両の展示などもあります。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

●日時 12月7日(日)午前10時～
●場所 城の台公園
●内容 避難所体験、土のう積み体験、煙体験ハウス、車両・防災備蓄品の展示、非常食の試食 他



煙体験ハウスの様子

※小田地域では午前9時から、各地区ごとにシェイクアウト、住民避難訓練、情報伝達訓練などを行います。
●参加費 無料
【問い合わせ】
総務課危機管理班
☎0893(44)6150

心動く情景を描いた十七音—— 小・中学生俳句大会10周年パネル展

「内子町小・中学生俳句大会」は、内子町の合併10周年を記念して平成27年に始まりました。今年は第10回の節目に、過去の最優秀句のパネル展を開きます。子どもたちの豊かな感性に触れ、俳句を楽しみませんか。

●期間 12月17日(水)～8年

1月16日(金)
●場所 共生館
●日時 12月21日(日)午前10時～
●場所 共生館
【問い合わせ】
内子町教育委員会 自治・学習課
生涯学習係(内子分庁内)
☎0893(44)2114

あなたの力を生かせる、役場で“まちを支える仕事”しませんか /

内子町会計年度任用職員を募集します

「会計年度任用職員」は、任期が定められた非常勤の地方公務員です。内子町ではさまざまな職種で事務補助などを行う職員を募集します。

詳しい募集内容や人数、応募方法などの詳細は、募集要項をご確認ください。

- 採用期間 8年4月1日(水)～9年3月31日(水)
- 選考方法 面接試験または書類選考
- 応募期間 12月3日(水)～8年1月6日(火)

※募集要項は内子町役場総務課・内子総合窓口センター・小田支所、または内子町のホームページで入手できます。

ID 135426

【応募・問い合わせ】

〒795-0392

内子町平岡甲168番地

内子町役場 総務課 人事・給与係

☎0893(44)6150



○地域に学ぶ「ふるさと学のススめ・応用編」 展示と体験で戦国の暮らしに触れよう

城の台公園で約30年前に行われた発掘調査で、室町～戦国時代の山城が発見され、多数の遺物が出土しています。今回は愛媛大学と連携して、当時の発掘成果を深掘りする「太田城再評価プロジェクト」を実施します。約500年前の小田地域の暮らしに触れてみませんか。



鳥観図（発掘調査報告書より）

●日時 12月20日（土）

午前10時～午後4時

●場所 内子町林業センター

●内容 展示 「触れよう！ 戦国の暮らしー太田城で発見された品々ー」

▽体験 「灯火の茶室体験ー往時の文化に寄り添う時間ー」

●入場料 無料

●共催 愛媛大学社会共創学部
文化遺産論ゼミ

ID 136085

【主催・問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課
生涯学習係（内子分庁内）

☎0893（44）2114

○ミツバチの飼育をする人は 毎年の届け出を忘れない

ミツバチを飼育する人は、趣味か仕事を問わず、愛媛県に「蜜蜂飼育届」を毎年提出しなければなりません。

8年1月1日以降も飼育を継続する場合や、8年以内に飼育を

予定している場合は、1月15日（木）までに担当係へご連絡ください。

【問い合わせ】

農林振興課 農業振興係

☎0893（44）2123

○内子町斎場「藤華苑」の 指定管理者を募集します



施設の外観



ロビーの様子

●応募資格 法人その他の団体で、斎場の管理運営業務に精通し、同施設を安全・円滑に管理運営できること

※個人での応募は不可

●応募方法 「指定管理者指定申請書」に事業計画書などを添えて、受付期間内に提出してください。

※郵送での応募は不可

●受付期間 12月1日（月）～26日（金）

※受付時間は平日の午前8時30分～午後5時15分

●決定方法 提出された申請書類をもとに内子町指定管理者選定委員会を選定し、内子町議会の議決を経て決定・指定します。

●その他 詳細は条例および規則をご確認ください。

※募集要項や応募書類は、内子町のホームページに掲載しています。

ID 145099

【提出先・問い合わせ】

住民課 戸籍係

☎0893（44）6152

少ない負担で、将来もらえる年金を上乗せ 国民年金の「付加年金制度」

コラム＊ねんきん瓦版

国民年金保険料に加えて付加保険料を納付することで、将来受け取る老齢基礎年金の額を増やすことができます。2年以上受け取ると、納めた付加保険料以上の額を受け取ることができ、お得です。

●対象者 国民年金第1号被保険者、65歳未満の任意加入被保険者

●付加保険料（月額） 400円

●付加年金額（年額） 200円×付加保険料を納めた月数

（例）20～60歳の40年間納めた場合

▷納付額 400円×480月＝19万2,000円

▷上乗せされる年金額（年額） 200円×480月＝9万6,000円

●申込方法 内子町役場または年金事務所で手続きをしてください。インターネットを利用した電子申請も可能です。

●注意点

▷国民年金基金の加入者や、国民年金保険料の納付を免除されている人は、付加保険料を納付できません。

▷個人型確定拠出年金（iDeCo）と同時に加入できますが、納付額によっては併用できない場合があります。

▷付加保険料の納付は、申し出をした月から開始します。

▷納付期限は翌月末日です。納付期限を経過した場合でも、期限から2年間は保険料を納めることができます。

【問い合わせ】

○松山西年金事務所

☎089（925）5105

○住民課 国民年金係

☎0893（44）6152

ガバメントクラウドファンディング
＝第1弾＝

藝に遊ぶ内子座

内子座は大正5年、芸術・芸能を愛してやまない人々の熱意によって建てられました。平成27年には重要文化財に指定され、内子を代表する文化の殿堂として親しまれています。

創建100年余りが経過した内子座では現在、耐震補強を含む保存修理工事を実施中です。このたび、皆さんとともに内子座を100年先、またその先へと引き継ぐため、工事資金を募るクラウドファンディングを実施することとしました。温かいご支援をよろしくお願いいたします。

●実施期間 12月31日（水）まで

●目標額 300万円

《ガバメントクラウドファンディングとは》

地域の課題解決プロジェクトに対して寄付をする、ふるさと納税です。寄付者は金額に応じて返礼品を受け取れます。

※町内在住の人は、別途ご相談ください。

プロジェクトの詳細は、寄付（ふるさと納税）のサイトで確認できます▶



【問い合わせ】

町並・地域振興課 伝統文化施設係

☎0893（44）2118

○年の瀬を内子座楽屋で楽しませんか
ミニコンサートのご案内



楽屋がコンサート会場に

特別公開中の内子座楽屋でクリスマスコンサートを開きます。
●日時 12月21日(日)午後1時30分(30分程度)
●場所 内子座楽屋

●出演者 福歌
※町内のメンバーで構成するバンド「山家」から派生したグループです。ギター・キーボード・パーカッションで、クリスマスソングやオリジナル曲などを披露します。

●入場料 無料
ID 144980
【問い合わせ】
町並地域振興課 伝統文化施設係
☎0893(44)2118

○子どもの学びをサポートする
「就学援助制度」をご利用ください

「就学援助制度」は、経済的な理由で子どもを小学校や中学校に通わせることが困難な保護者に対して、給食費や学用品費など学校生活に必要な経費の一部を援助する制度です。
●対象 児童扶養手当受給世帯や住民税非課税世帯などで、経済的に困難で就学援助が必要と認められる世帯
※所得によって認定されない場合があります。

●申請方法 お子さんが在学または入学予定の学校にご相談ください。
※8年度の小・中学校入学予定者は、「新入学学用品費」の支給を8年3月に受けることもできます。希望者は1月中旬までに申請してください。
【問い合わせ】
内子町教育委員会 学校教育課 学校教育係(内子分庁内)
☎0893(44)2124

募集

「第76回全国植樹祭えひめ」
一般参加者を募集します

森林や緑への理解を深める全国イベント「第76回全国植樹祭えひめ2026」の一般参加者を募集します。

●開催日 8年5月17日(日)
●場所 愛媛県総合運動公園
●申込期限 12月12日(金) 午後5時

※応募多数の場合は抽選となります。

応募方法などの詳細は公式ホームページで確認▼



【問い合わせ】

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会事務局

☎089(961)1599

新居浜産業技術専門学校
8年度入校生を募集

●募集科 メカトロニクス科(機械・保全・電気技術者)、メタル技術科(溶接技術者)

※自動車整備科(2級自動車整備士)

備士)の募集の有無は12月下旬に決定します。

●訓練期間 8年4月(2年間)
●募集期間 8年1月15日(木)～2月24日(火)
●試験日 8年3月3日(火)
●費用 選考料2200円、授業料(月額)9900円 他
●その他 男性寮あり。学校見学は平日のみ可能です。

詳細はホームページをご覧ください▼



【問い合わせ】

愛媛県立新居浜産業技術専門学校
☎0897(43)4123

放送大学で学ぼう
8年度1学期生募集中

放送大学はテレビ放送やインターネットを通して授業を行う通信制の大学です。働きながら大学を卒業したい人、学びを楽しみたい人など、幅広い世代の人が修学しています。詳しい資料を無料で送りますので、気軽にご請求ください。

【問い合わせ】

放送大学愛媛学習センター
☎089(923)8544

☐https://www.ouj.ac.jp

人権コラム*幸せへの道

見ようとすることから始まる人権意識

昭和60年当時、ある色覚異常の教員志望者は、求人票のほとんどに「色覚異常者不可」と記されている現実と直面しました。日常生活や仕事上で大きな支障がないにもかかわらず、社会は少数派に対して過剰な制限を課していたのです。当時、学校に来る求人は9割以上が色覚異常者不可。教員の求人も同様で、教員や事務職員が排除される理由は説明し難いものでした。

その後、公務員採用規定の改正により「色覚異常者不可」の項目は削除され、誰もが教員を志すことが可能になりました。この出来事は、制度や慣習が少数者にとって不合理な障壁となり得ることを示す例です。社会は当事者でなければ気付にくい制限や偏見に対して、柔軟に対応する責任を負っています。

「明るいところからは明るいものしか見えないが、暗いところからは全てが見える」——こ

れは漫画家の故・赤塚不二夫さんの言葉です。人も同様に、立場や経験によって見えるものが異なります。この視点の違いを意識せずに生活していると、知らないうちに他者の権利や自由を侵害してしまうことがあります。

誰かが抱える痛みや制限に目を向けることこそ、人権意識向上の第一歩です。見ようとしないうちに、社会における不公平や不当な扱いは繰り返されてしまいます。少数者の立場を理解し、制度や慣習を見直す努力を続けることは、全ての人にとって公正で生きやすい環境をつくる礎となります。自分の「明るい場所」だけで物事を判断するのではなく、意識して違う視点に目を向けてみましょう。

【問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課 生涯学習係
☎0893(44)2114

ソルファオダスキーゲレンデ お得な町民割 始めます

ソルファオダスキーゲレンデではこの冬、町民限定の特別割引を実施します。四国最大級を誇るゲレンデに、ぜひご来場ください。

- 対象者 内子町に住所がある人
- 割引期間 12月23日(火)～8年3月20日(金)
※積雪状況により変更する場合があります。
- 割引内容
 - ①駐車料金 無料
 - ②リフト券 大人半額、子ども無料
- 利用方法 大人は町民であることが分かる身分証明書(運転免許証など)を提示してください。

【問い合わせ】

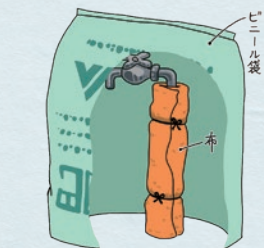
ソルファオダスキーゲレンデ
☎0892(52)3232

水道管の凍結・破裂に注意

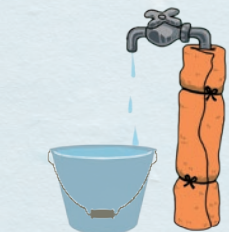
冬場は朝晩の冷え込みで水道管が凍結し、破裂する恐れがあります。次のことに注意して、水道管を凍結から守りましょう。

①水道管を布や保温材などで包む

②冷え込みそうな夜は水を少量ずつ出す



水道管を布などで包み、ビニール袋などをかぶせて濡れないようにしておきましょう。



水を少しずつ流すと凍結防止になります。水はバケツなどに溜めて再利用しましょう。

《漏水を発見したら》

水道管が破裂したときは、メーターボックス内の水道元栓を閉めると漏水を止められます。ボックスの位置や、元栓が正しく動作するかを事前に確認しましょう。元栓を閉めても水が止まらないなどの不具合があるときは、上下水道対策班へご連絡ください。

家庭の水道管が破裂し、漏水した場合、水道料金は減免されません。漏水を発見したら、すぐに内子町指定の水道事業者に修理を依頼してください。

【問い合わせ】

上下水道対策班

☎0893(44)6158

《わいわい喫茶》
お茶と手作り菓子で、来館者をおもてなします。
●日時 1月6日(火)
午後1時～4時30分
●参加費 無料
※うちこ福祉館では人権に関する相談を受け付けています。気軽にお越しください。
【申込・問い合わせ】
うちこ福祉館
☎0893(44)3410



施設の外観

うちこ福祉館の行事案内

※所得税の基礎控除の見直しに関する相談は、コールセンターにお問い合わせください。
○コールセンター
☎0570(02)4562
【問い合わせ】
大洲税務署
☎0893(24)3115

お知らせ

冬場の火災を防ぐため
暖房器具の使用は適切に



火の取り扱いに注意を

冬場は石油ストーブやファンヒーターなどの暖房器具が原因となる火災が増える時期です。安全な使い方をもう一度確認しましょう。

《暖房器具を使うときは》

▽使用前に説明書をよく読む
▽給油は火を消してから行い、終わったらふたをしつかり閉める

▽電源プラグやコードが傷んでいたら使用しない

▽器具の周りに、洗濯物などの燃えやすいものを置かない

▽定期的に換気をする

【問い合わせ】

内子消防署

☎0893(43)0119

愛媛県最低賃金が
1時間1033円に改正

県内すべての労働者に適用される「愛媛県最低賃金」が改正されました。12月1日以降の最低賃金(1時間)は1033円です。業務改善助成金やキャリアアップ助成金など、各種支援制度の活用をご検討ください。

詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください▼



【問い合わせ】

愛媛労働局賃金室

☎089(935)5205

県内企業による合同説明会
「お仕事フェスタ」

●日時 12月11日(木) 午後1時30分～5時
※受付は午後1時～

●場所 松山市総合コミュニティセンター

●内容 若年者を採用予定の企業25社が参加予定

●対象 県内企業に就職を希望する、おおむね35歳未満の人
※保護者の見学も可能です。

●参加費 無料

※服装は自由で、事前予約は不要です。

参加企業などの詳細はこちらで確認▼



【問い合わせ】

(株)東京リーガルマインド松山支社

☎070(1746)5333

宇和島産業技術専門学校を
見学できる「技能ひろば」

公共職業訓練を行う校内を一般開放します。ものづくり技能体験や作品展示、求職者向けの相談コーナーなどもあります。

●日時 12月14日(日)

午前10時～午後2時

素人調理は厳禁
フグ毒の事故を防ごう

フグは猛毒「テトロドトキシン」を持ち、正しく調理しないと食中毒を起こし、最悪の場合死に至ることもあります。毒は加熱してもなくなり、事故のほとんどは家庭での素人調理が原因で起きています。

フグを調理するには「ふぐ取扱者」の資格が必要です。釣れたフグを無資格で調理したり、人にあげたりしないでください。

【問い合わせ】

愛媛県保健福祉部薬務衛生課

☎089(912)2395

●場所 宇和島産業技術専門学校
(宇和島市柿原甲1712)
【問い合わせ】
宇和島産業技術専門学校
☎0895(22)3410

「シゴト発見フェス」で
企業との出会いを全力支援

県内50社が集まる合同企業説明会を開きます。県外からの学生には交通費補助もあります。

●日時 12月28日(日)

午前10時～午後3時

●場所 県民文化会館

●対象 学生または既卒3年以上の求職者

●料金 無料

●申込方法 開催日前日の正午までにお申し込みください。

申し込みや詳細の確認はこちらから▼



【問い合わせ】

ジヨブカフェ愛Work

☎089(913)8686

人権週間のテーマは
『誰か』のことじゃない。』

12月4日～10日は「第77回人

年末調整は専用ソフトの
利用が便利です

年末調整では「年調ソフト」を使うと、「控除申告書」の作成や「控除証明書」の取り込みがスマホやパソコンでできます。作成した調書はe-Taxで提出すると、確定申告の際にも情報自動で反映され、手続きが簡単になります。ソフトの使用法や書類の書き方などは、チャットボットで質問できます。



▲年調電子化サイト



▲チャットボット

検出されないII感染しない
エイズを正しく知ろう

エイズの原因となるHIV(ヒト免疫不全ウイルス)は、治療を受けることで血液検査で検出されなくなれば、他の人に感染しないことが確認されています。

愛媛県では12月1日～7日を「エイズ予防週間」と定め、県内保健所で無料・匿名のエイズ検査や、啓発パネル展などを実施します。詳しくはお問い合わせください。

詳細は愛媛県のホームページで確認できます▼



【問い合わせ】

愛媛県健康増進課

☎089(912)2402

冬の感染症対策、大切なのは「基本」の徹底

例年12月～3月は感染症が流行する時期です。特に年末年始は人の往来が増えるので注意が必要です。普段から体調管理をして、症状がある場合は早めに医療機関を受診してください。

《普段の対策を徹底》

- ▶ **しっかり手洗い** 手に付着したウイルスが感染症の主な原因になります。こまめに手洗いをして体内への侵入を防ぎましょう。
- ▶ **湿度を保つ** 室内では加湿器などを使い、50～60%の適切な湿度を保ちましょう。
- ▶ **換気をする** 寒くても定期的に換気をしましょう。部屋の対角にある窓を2カ所開け、換気扇を併用すると、温かい空気を逃がしにくくなります。
- ▶ **咳エチケット** 咳やくしゃみをするとき、マスクやハンカチなどで口と鼻を覆う「咳エチケット」を心がけてください。
- ▶ **食事と休養** バランスのいい食事と休養を心がけ、体の抵抗力を高めましょう。
- ▶ **人混みを避け、マスクを着用** 外出時はできるだけ人混みを避けましょう。電車など利用するときはマスクを着用してください。

《予防接種をご検討ください》

新型コロナウイルスやインフルエンザは、予防接種を受けることで発症や重症化をある程度抑えることができます。特に高齢者や乳幼児、持病がある人などは重症化のリスクが高いため、早めの接種を検討してください。

《できていますか？ 正しい手洗い方法》



①流水で手をぬらして、石けんをつける



②手のひら・手の甲をよくこする



③指と指の間も念入りに洗う



④指先・爪を手のひらにこすり合わせる



⑤手首を洗う。終わったら水で流し、清潔なタオルなどで拭く

1月の相談日・救急当番医

●年金1日相談

日時：15(木)・29(木) 午前10時30分～午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所 ☎089(925) 5110

●行政相談

日時：13(火) 午前9時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／小田自治センター
問い合わせ：総務課 ☎0893(44) 6150

●心配ごと相談

日時：20(火) 午前9時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44) 3820

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23) 1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時～午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後7時～10時(平日、土・日曜日)

※12月30日(火)、31日(水)、1月1日(木)、2日(金)、3日(土)は午前9時～午後6時

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1(木)	おおくぼこどもクリニック(大洲市)	0893(57) 9366
2(金)	守口小児科(八幡浜市)	0894(24) 7770
3(土)	大洲ななほクリニック	0893(25) 7710
4(日)	ごとう小児科(大洲市)	0893(23) 0510
11(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24) 1199
12(月)	みかんこどもクリニック(八幡浜市)	0894(20) 8800
18(日)	おおくぼこどもクリニック(大洲市)	0893(57) 9366
25(日)	おおむら小児科(内子町)	0893(44) 7117

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24) 2151
水	日中：加戸病院	0893(44) 5500
	夜間：喜多医師会病院	0893(25) 0535
木	日中：大洲記念病院	0893(25) 2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22) 3211
金・土	大洲中央病院	0893(24) 4551
日	日中：大洲中央病院	0893(24) 4551
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22) 3211

1月の健康カレンダー

●母子保健

育児相談

日	受付時間	場所	対象
8(木)	午前9時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
9(金)	午前9時30分～11時	五十崎保健センター	
14(水)		内子保健センター	

乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
22(木)	午後1時～1時15分	内子保健センター	7年5月・6月生まれ

【問い合わせ】

内子町保健センター
☎0893(44) 6155



◎試合を終え、グラウンドで記念撮影。皆さんのパワフルさと友情は、現役時代の輝きそのまま

仲間と本気になれた経験こそ財産 ソフトボールで結ばれた節目の交流試合

エండిングゲーム
中学校ソフトボール部OGの皆さん

内子・五十崎中学校ソフトボール部の出身者による交流試合「エండిングゲーム」(同実行委員会主催)が11月1日、内子中学校で開かれました。同部は部員の減少に伴い、7月の大会出場を最後に活動休止が決定。そこで「部の歴史を振り返り、仲間ともう一度グラウンドで楽しもう」と、OG有志が中心となって試合を企画しました。集まったのは両校出身の選手20人と指導者たち。中には中学時代のユニフォーム姿の人もあり、「なんでまだ持ってるの」「懐かしい」と、思い出話に花が咲きます。副実行委員長の菊地尚子さんは「プレーするのは20年ぶり。四国大会の緊張感、辛かった筋トレ——いろいろ思い出す」と笑います。過去、何度も対戦してきた内子対五十崎で試合を行い「明日は筋肉痛や」「現役やったらなあ」と笑顔があふれる皆さん。年代を超えて青春時代を懐かしみ、競技で結ばれた仲間との時間を楽しんでいました。

実行委員長の宮野祐子さんは「休止はさみしいけれど、時代の流れ。部はなくたって、子どもたちには一つでも熱中できるものを見つけてほしい。本気になれた経験は、心を一回りも二回りも成長させてくれるから」と思いを語りました。

編集幸記

▽あつという間に12月になりました。1月号の編集幸記を見てみると「今年の目標は運動不足解消」と書いてありました。まずい、あと1カ月しかない。来年は違う目標を書けるように頑張ります(史)

▽子どもは頭が柔らかいなあ、と、たびたび思い知らされます。読書活動研究集会では中学生が考えたショートショートのカオリティにびっくり。今後、図書館で展示予定のことです。ぜひ見てみてください(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

